

Ⅱ 学習指導の基本

Ⅰ 教科別の指導

◆知的障害や重複した障害のある子ども

各教科の目標及び内容を踏まえて学習を進めますが、子どもによっては小・中学校の教科の学習が適切でない場合もあります。そのような場合には、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」の「知的障害者である児童（生徒）に対する教育を行う特別支援学校」の各教科の目標及び内容に替えることができます。



※「学習指導要領」も「学習指導要領解説」も文部科学省のホームページからダウンロードできます。

◆指導の際に配慮したいこと

- 知的障害特別支援学級の子どもの場合、学習したことが身に付くように、より多くの体験的・実地的な内容を取り入れて学習を進めます。また、覚えたことや学んだことを実際の生活で生かせるように、各教科等と各教科等を合わせた指導とを関連させて学習を進めていくことが必要です。
- 自閉症のある子どもの場合、抽象的なこと応用問題や文章題が苦手なケースが多いため、具体物を操作したり、絵や図を用いたりしてイメージをもちやすくします。めあてやまとめ方を分かりやすく示し、この時間何を学習するのか、どこまでやったら終わりなのかをはっきり示すことが大切です。